

## 「超音波骨密度検査」について

超音波骨密度測定検査に使用する装置を更新しましたので、超音波骨密度測定の検査方法や使用場面について今号でご紹介します。

### ● 超音波骨密度検査って何？

超音波を用いて骨量を推定し、骨の強さ（骨強度）にかかわる「骨密度」を測定する検査です。骨の強さ（骨強度）は、「骨密度」7割と、「骨質」3割で決定されます。「骨密度」とは、骨に含まれるカルシウムやリン酸塩などのミネラル成分の全体の量で表され、「骨質」とは、骨の微細構造や代謝状態のことを指します。

骨密度検査は、骨がもろくなって骨折しやすくなる病気である骨粗鬆症かどうかを調べるための代表的な検査です。骨粗鬆症の初期はほとんど自覚症状がないため、骨密度検査を受けることで、骨粗鬆症の早期発見や予防につながります。

また、超音波を用いる方法は、放射線（X線）を使用していないため、妊娠中もしくは妊娠の可能性のある女性や小児（9歳以上）の方でも安心して検査を受けることができるというメリットがあります。

### ● 検査方法

骨量の減少が現れやすい、踵（かかと）を用います。

- ① 測定台に足を乗せます。
- ② 踵をアルコールで清拭します。  
\*アルコールに過敏な方は、アルコールを含まないもので行ないます。
- ③ メンブレンという測定部が、踵を左右からやさしく挟みます。
- ④ 測定時間約2秒で検査終了です。



案内から検査終了までほんの数分間で終わる簡単な検査です。

## ● 検査結果からわかること

検査結果は、若い人の平均値（YAM）と比べて何%あるかで示されます。

- YAMの90%以上 **異常なし**  
今のところ異常は認めません。
- YAMの80~90% **要指導**  
骨量がやや低下しているため、これ以上減らないようにしましょう。
- YAMの80%未満 **要精検**  
詳しい検査が必要です。骨粗鬆症と診断された場合には、治療が必要です。

## ● 骨粗鬆症ってどんな病気？

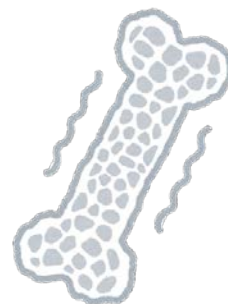
骨粗鬆症とは、骨の強度が低下して、骨折しやすくなる病気です。特に、ご高齢の方の骨粗鬆症は、寝たきり生活につながりやすいため、大きな社会問題となっています。

骨粗鬆症は、「**原発性**」と「**続発性**」の2つに大きく分かります。

「**原発性**」は、主に中高齢の女性の閉経後の骨粗鬆症です。他に、男性骨粗鬆症や、特発性骨粗鬆症（若年性や妊娠後）などがあります。「**続発性**」は、骨粗鬆症になる原因や元にある病気が明らかなものです。元の原因を取り除き病気を治療する、あるいは軽くすることが、骨粗鬆症やそれによって起こる骨折の危険性を少なくすることにつながります。

また、次のような方も骨粗鬆症になる**リスクが高い**とされています。

- 閉経後、または治療により生理を止めている女性
- 若い時に生理不順があった女性
- 運動不足、若い時に過度の運動をしていた方
- タバコを吸う、お酒をたくさん飲む方
- 甲状腺機能亢進症と診断されたことがある方



当院では、お手軽検査にて  
紹介した超音波骨密度測定検査を  
行っています。  
検査したいと考えている方は  
ぜひ、ご利用ください。



※参考資料：骨粗鬆症予防と治療のガイドライン 2015  
超音波骨密度測定装置 AOS-100SA 取扱説明書

「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。  
ご参照ください。

ホームページ <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

